

第12回 地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2023）

「相模原におけるロボット活用エコシステムの形成による地域産業のインキュベーション事業

相模原を「ロボットのまち」へ!!

地域産業のインキュベーション事業

令和5年（2023年）6月15日



株式会社 さがみはら産業創造センター  
Sagamihara Incubation Center Ltd.

# さがみはらロボット導入支援センターをハブとした

## ロボット活用エコシステムの形成!!

### 1 生産性向上支援（自動化・ロボット導入支援）

ロボット導入による生産性向上を目指す企業へのコンサルティング

### 2 人材育成支援

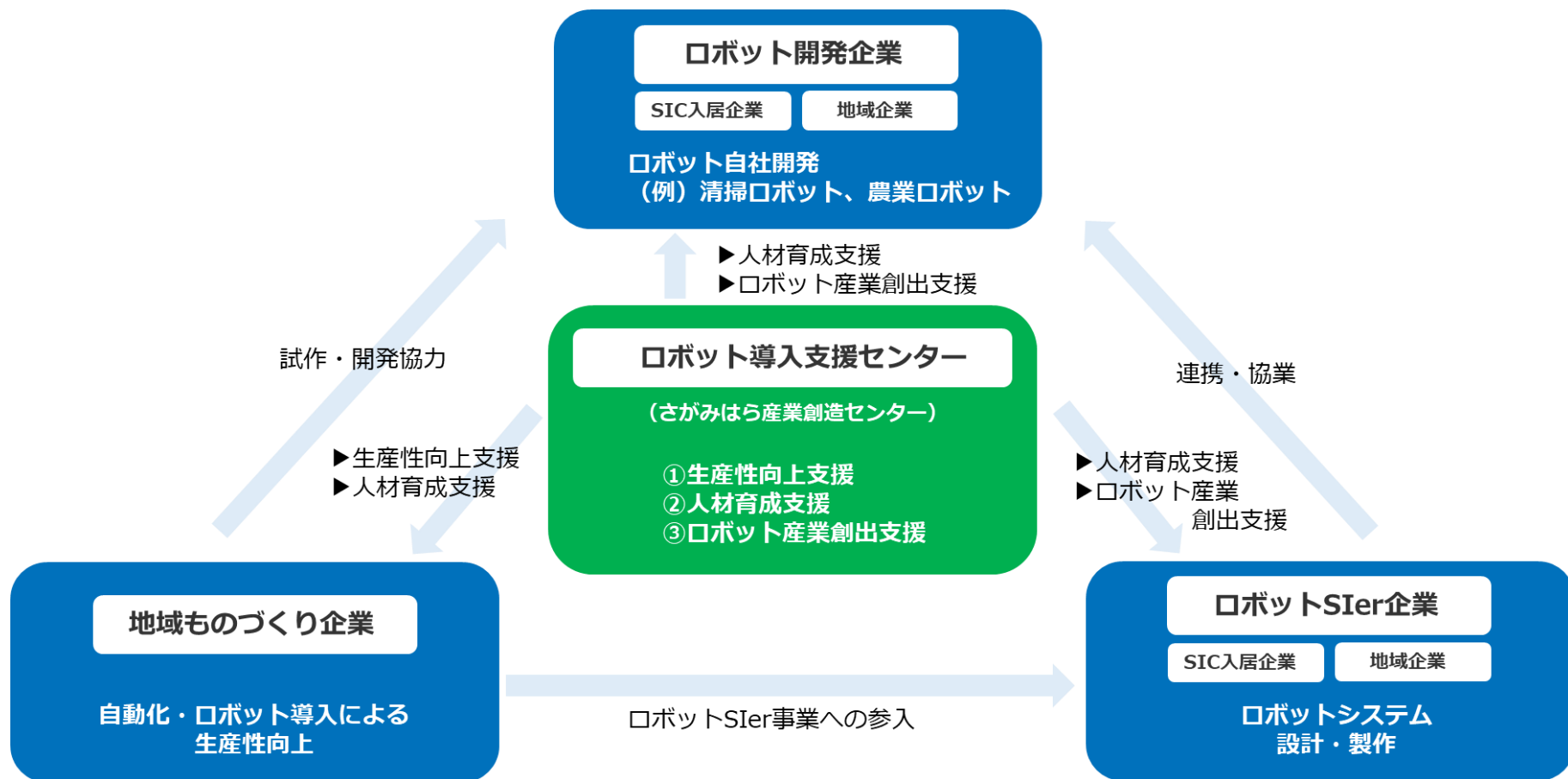
- ▶ ものづくり企業向け（生産プロセス改善講座、タイアップセミナー）
- ▶ ロボットシステムインテグレータ向け（ロボットSIer養成講座）
- ▶ オーダーメイド型（自動化スキル養成研修、製品設計エンジニア育成研修）

### 3 ロボット産業創出支援

- ▶ インキュベーション施設を中核としたロボットビジネス集積拠点
- ▶ 個社に対する総合的な経営支援

## さがみはらロボット導入支援センターをハブとした

## ロボット活用エコシステムの形成!!



戦後  
～  
1990年代

### 内陸工業都市として発展 → 大手企業の地方・海外移転

工場誘致条例（1955年）を契機に“内陸工業都市”として発展。しかし、1990年代以降、大手企業の地方移転や海外展開が進み、地域産業の牽引役となるリーディング企業・産業の育成が課題に。

1999年～

### (株)さがみはら産業創造センター 設立

新事業支援施設（ビジネス・インキュベーター）として、さがみはら産業創造センター（SIC）が誕生。

2008年～

### リーマンショック（2008年）、東日本大震災（2011年） etc.

たび重なる経営環境の悪化を受け、相模原でも多くの中小製造業が苦境に。

2013年～

### 神奈川県「さがみロボット産業特区」

神奈川県では、相模原市を含む県央地域の市町とともに、生活支援ロボットの開発・実証実験支援に着手。

2015年～

### さがみはらロボット導入支援センター 開所

相模原の強みが活かせる「産業用ロボット」に注目。中小製造業の生産性向上とロボット産業創出を目指す。

## 1 スタートアップ企業 × 中小製造業で、地域産業支援に相乗効果!!

ものづくり分野では、スタートアップ企業（入居企業）と地元中小企業は補完し支え合える関係。

（例）実験、試作（設計・製作）、評価・分析、部品調達、組立、販売など

## 2 スタートアップ企業との協業が、中小製造業の経営革新のきっかけに!!

先端的な技術やビジネスに関与することで意識改革や人材育成などにつながる。

## 3 中小製造業の新事業展開にも!!

生産性向上による経営力強化が新規事業への投資意欲を喚起。新製品開発や新事業展開への発展を期待。

**相模原の“産業創造”を担うビジネス・インキュベーターとして、**

**地域産業のインキュベーションを目指し、相模原市と本事業に取り組んできた!!**

## “本事業を成功に導いた3つのポイント”

ロボット導入支援と  
ロボットビジネス支援  
の両立

地域内でロボット活用の土壌が形成され、ロボット関連企業・産業の創出にもつながった。

ロボットありきではない  
相談企業目線による  
伴走型支援

企業自身が課題設定から改善策の立案・実施に至る一連のプロセスを主体的に取り組めるように伴走してきた。

ビジネス・インキュベーション事業と連動した  
経営支援

入居企業支援の一環として、製品開発や人材育成、企業探索などの総合的な経営支援に注力することで相乗効果を発揮。

## 1 東日本初のロボット導入支援センター

全国では北九州市に次ぐ2番目、東日本では初となる公設ロボット導入支援センター。

## 2 全国初の各種プロジェクト

### ロボットSIer養成講座

人材育成プログラムを業界団体に先駆けて全国初実施。開講以来、広島県や大阪府など遠方からも受講多数。他地域で出張開催した実績あり。

### さがみはらHSR 社会実装研究会

トヨタ自動車(株)が開発するHSRロボットの社会実装プロジェクトに企業として全国初参加。

### World Robot Challenge

ロボット国際競技大会に市内企業の連合チームで参加。産業支援機関がコーディネートしたチームは大会初。

## 3 ビジネス・インキュベーション事業との連動

ビジネス・インキュベーション施設が主体として取り組む事例は先駆的。

## 1 他機関・他事業との連携による相談案件開拓

- ①企業の課題や支援ニーズを社内で共有・展開することで相談案件を開拓。
- ②地域金融機関との連携を強化し、金融機関経由の相談が増加。

## 2 相談企業目線によるロボットありきでない支援

相談企業の実情に合わせ、将来のロボット導入を見据えて案件を育てていくという考え方で支援。「相談後数年かけて体制を整えたので、改めてロボット導入を進めたい」といったリピート相談も増加。

## 3 その他

- ①市外企業からの相談にも積極的に対応することで、「ロボットのことなら相模原へ」という声が増加。
- ②ロボット導入に係る課題のうち、中小企業にとっては「資金調達」が最大の壁となることから、相模原市では独自にロボット導入補助金制度を整備。



### ロボット 関連企業

- ▶ 設備設計会社などが数多く存在。その中からロボットビジネスを展開してきた企業50社超が集積。
- ▶ ロボットの導入や開発の担い手が地域に多数集積していることが、ロボット活用エコシステム形成に大きく寄与。

### 教育・ 研究機関

- ▶ 青山学院大学などの工学系大学・高専が多数立地。産学連携や人材の採用・育成でも利点。  
(例) ①青山学院大学 松本俊之研究室  
(自動化設備設計支援システム開発)  
②玉川大学 岡田浩之研究室  
(サービスロボット用途開発)  
③東京農工大学 ベンチャー研究室  
(AIによるロボットシステム開発)

### 支援人材

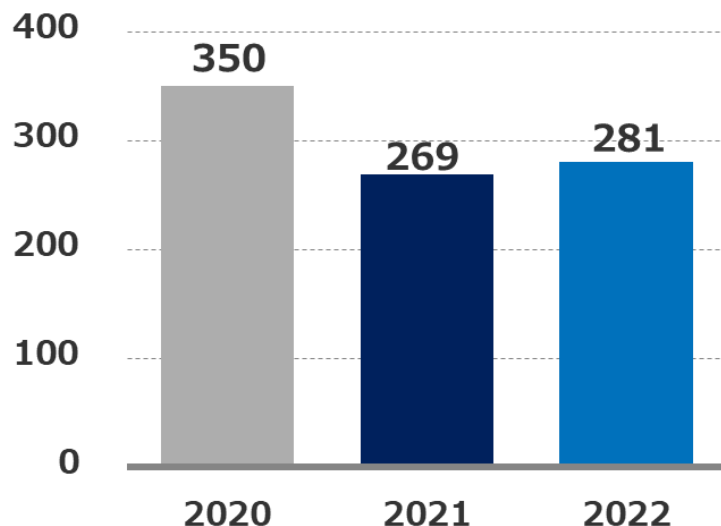
- ▶ インキュベーション施設内には多様な専門家が入居。地域では大手メーカー出身の専門家も多数。
- ▶ ロボット導入支援センターでも、市内大手メーカー出身者も参画しているほか、個別の案件に応じて、施設内の専門家とも連携。

### 地域資源活用にあたっての課題

- ①地域資源の特長を理解するため、独自の企業評価シートを作成。ロボット関連企業のデータベース化を進めた。
- ②ロボット活用領域の拡大（建設や福祉など）に伴い、多様な課題に対応可能な支援ネットワークの形成が課題。

## 直近3年間で累計900社超が利用!!

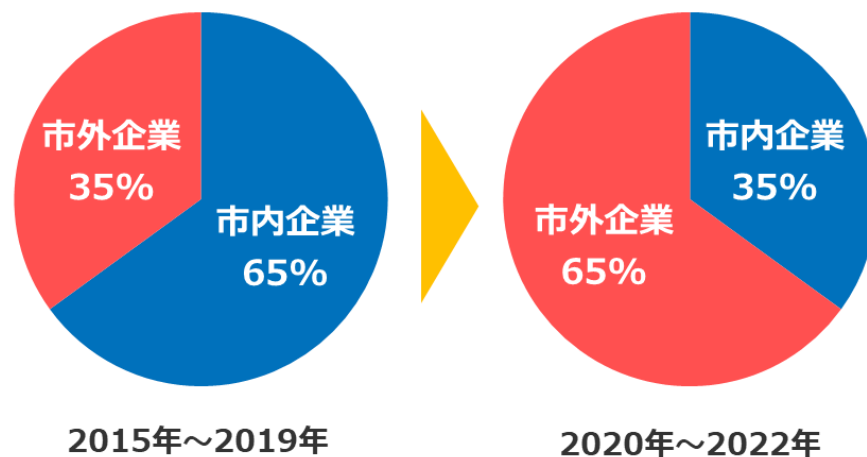
支援プログラム利用企業数



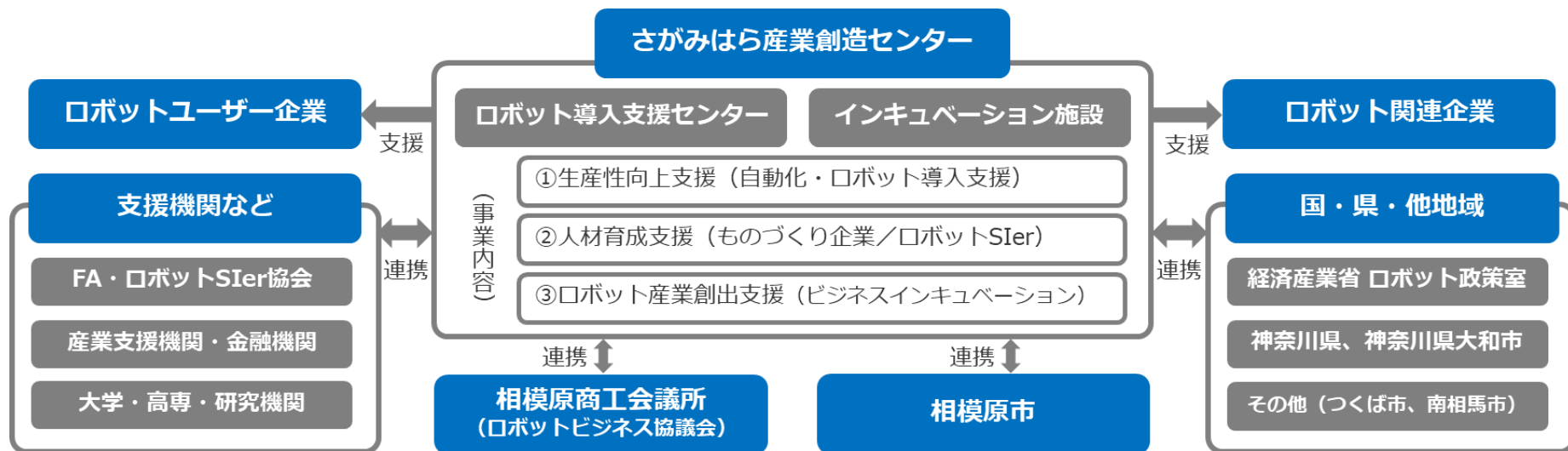
- ▶ 2015年の事業開始以来、累計6,790名が利用（2023年3月末時点）
- ▶ そのうち、ロボット導入等に関する具体的な相談は324件。

## 近年は市外企業からの相談が増加!!

相談件数に占める市外企業の割合



- ▶ 神奈川県内の各市町村はもちろん、東京都や山梨県からの相談も多く、過去には岩手県や秋田県、鳥取県といった遠方の企業にオンラインで相談対応した実績もあるなど、地域内外で広範に活用されている。

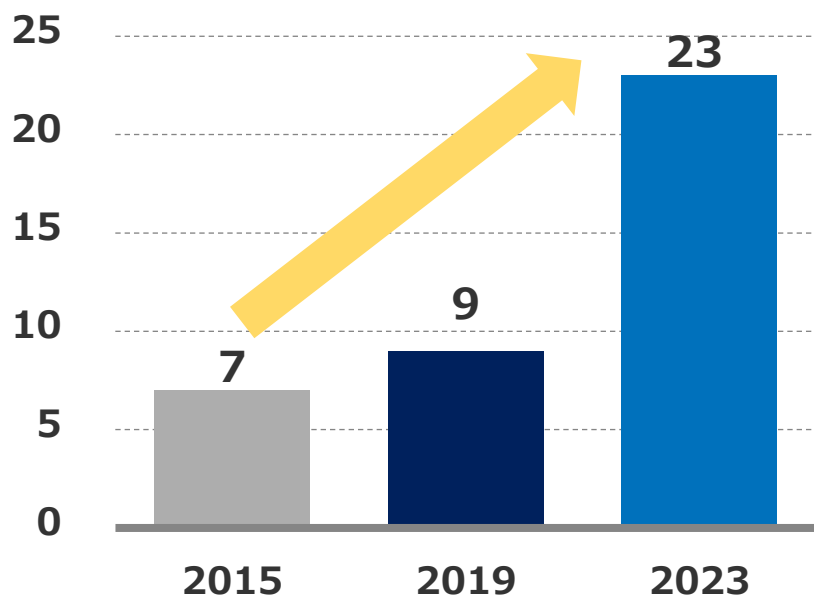


## 今後の展開 ～全国のロボット関連支援機関との連携強化～

- ▶ “相談内容の多様化” や “支援活動の広域化” に合わせて、他地域との連携強化を図り支援力アップ！
- ▶ ロボット活用エコシステムを全国展開し、相模原がそのハブとなることで、日本のものづくり、そしてロボット産業の活性化・競争力強化に貢献！

## ロボット関連入居企業が3倍超に増加！ 入居企業の20%超がロボット関連！！

ロボット関連入居企業数



- ▶ 2015年 ロボット導入支援センター 開所  
2019年 SIC-2 R&D Lab. 竣工
- ▶ ロボット関連入居企業の売上・雇用増加数  
売上増加額 約95億円、雇用増加数 65名

### (主なロボット関連入居企業)

- ①(株)DONKEY  
(小型多機能農業用ロボット  
“DONKEY”の開発企業)
- ②ABB(株)  
(スイスに本社を置く世界4大  
産業用ロボットメーカーの1社)
- ③大豊産業(株)  
(香川県高松市に本社を置く  
大手ロボットSIer企業)
- ④(株)トランセンド  
(相模原市内随一の  
ロボットSIer企業)

## 地域内での波及効果

1. **ロボットビジネスへの新規参入**（例：コンサルティング会社⇒サービスロボット開発 等）
2. **市内企業同士による共同製品開発**（例：自律移動型清掃ロボット 等）
3. **大学との共同研究開発**（例：東京都立大学、東京農工大学 等）

## 地域外への波及効果

1. **視察受入件数 126件**（全国の行政・支援機関・業界団体）
2. **ロボットSIer養成講座 県外受講者数 27名**（全体の約27%）

※2022年度：

北海道苫小牧市、広島県福山市、群馬県太田市、山梨県笛吹市、東京都大田区

3. **他地域での講演や研修・セミナー受託実績**  
（中国経済産業局、いわて産業振興センター 等）

## 市内金属加工業「24時間無人稼働を目指したロボット導入」

### 1 自動化相談・コンサルティング

- ①さがみはらロボット導入支援センターで自動化・ロボット導入相談対応
- ②ロボット導入計画に対する助言、ロボットシステムの探索・情報提供、ロボットSIerのマッチング など

### 2 補助金活用支援

補助金申請に係る事業計画書のブラッシュアップ支援を実施（結果：採択）

### 3 人材育成支援

ロボットの活用に不可欠な課題解決力を持つエンジニアの育成を目指し、演習中心のオーダーメイド型の研修（自動化スキル養成研修）を実施。

**➡ 需要拡大が見込まれる製品の製造工程自動化計画に関して、協働ロボットの導入を実現し、24時間無人稼働体制を構築。月の売上高が6倍超増加、生産性は3倍に向上!!**

ビジネス・インキュベーターとして培ってきた  
ノウハウ&ネットワークを活かし、

**「ロボットのまち さがみはら」**

を目指します！